

# friends フレンズ

## Autumn 2022

「読む」とつながる。「読む」とひろがる。



### あれ！だれでしょう？

第1回明泉運動会の仮装リレーに参加した啓明小学校の児童たち。この中の11人は現在、明泉と高森で英語の先生をしています。

グレースちゃん  
リベッカちゃん  
エリザベスちゃん  
トマスくん  
エドワードくん  
ベテロくん  
ヨエルくん  
ヨセフくん  
リチャードくん  
パウロくん

### Grizzly を飼った F・C Boys

## ほくの Mr. James

〜〜〜



明泉学園の新しいシンボルマークが決まりました。

ベルソナ・マークと呼んでか  
わいがつてください。

明泉学園の新しいシンボルマ  
ークが決まりました。デザイン  
は、明泉学園の教育理念のキ  
ーワードである「こと（みど  
り）」、「こころ（まごころ）」  
と「愛（あい）」を基に、神と  
の明るき、「あふれる神の愛と  
みどりの」を分かりやすく表  
した。

## MeySen Newsletter 特別号

創刊号から45年、ニュースレターは200号を迎えました。

先生や友達と笑顔で過ごしている子供達、  
園舎、動物や草花、たくさんのイベント。  
数えきれないほどの主人公と出来事が  
紙面を彩り、積み上げられた45年。

200号という節目を迎えたニュースレターが目指すテーマは  
—「読む」とつながる。「読む」とひろがる。—

# 祝 200 号



### Welcome Back!



今年新たに迎える先生方の中に  
ル先生とジャシュア先生がいま  
ニエル先生は前に6年間、高森  
で教えていましたが、今年度よ  
うごいしよ。

### Candy……



## 「やすらぎのある園舎です」

丸山園舎四月十二日落成



### 明泉で見られる 虫(冬)

冬には、冬になると見られる虫が、冬になると見られる虫が、冬になると見られる虫が……

| 虫の名まえ     | 園で見られる場所 | い          |
|-----------|----------|------------|
| アゲハチョウの幼虫 | ①        | ツツジの木の葉の裏  |
| トンボ       | ②        | 池、溝の底のどろのり |
| カマキリ      | ③        | 自然公園の手すり   |

### めいせんのどうぶつ

この動物は、高森で飼育されている、高森で飼育されている、高森で飼育されている……



# ニューズレターの45年

## 家族団らんの一助になる ニューズレターに

園長 ダニエル・ファンガー

明泉のニューズレターの発行が200号を数えるまでになりました。1977年の6月に第1号が発行されてから45年、ニューズレターの体裁もデザインも大きく変わりましたが、当時と変わっていないものもあります。それは、すべての紙面の写真にあふれている子供達の笑顔と楽しい行事の雰囲気です。

記念すべき200号の発行を機に、家族で一緒に読んでいただけるようにとの思いから、クイズを入れたり、ふりがなを取って、知らない漢字は子供が親に聞いて読んでもらうことを通して、家族団らんの一助になることを期待しています。

初期の頃の白黒版ニューズレターを見ていると、私が英語の教師をしていた若き日の写真があり、当時の楽しい思い出がたくさんよみがえってきます。今通っている皆さんにとっても、「フレンズ」を何十年も先に手に取り、楽しかったことを思い出したり、聖書の言葉を読み返したりする、そのような紙面づくりを続けていきたいと考えています。



▲ダニエル先生が登場しているNo.12の表紙とNo.11の記事

**1977**  
ニューズレター創刊!  
創刊当時より、季刊(年4回発行)でした

**1978**  
高森明泉幼稚園 第1回入園式

**1984**  
No.30から名称を「FRIENDS CLUB NEWS」に変更

**1986**  
No.39から 中面がフルカラーに

**1989**  
No.40から 表紙もフルカラーに

**1992**  
明泉創立25周年、制服が新しく  
No.64から名称を「Friends」に変更、サイズもB4に

**1994**  
No.49 東京旅行特集

**1995**  
No.53 アメリカ研修旅行特集

**1997**  
ペルソナマーク誕生

**1998**  
No.90から「Friends」のロゴを一新  
丸山の園舎改築

**2000**  
第100号発行!  
高森の園舎改築

**2003**  
No.112  
ハイスクール  
第1回ヨーロッパ研修旅行 特集号

**2006**  
ダニエル園長就任、高森でプリミアスクール開設

**2007**  
丸山でプリミアスクール開設

**2011**  
No.152  
東日本大震災特集号「結集」(16ページ)

**2016**  
明泉創立50周年  
明泉丸山幼稚園、明泉高森幼稚園に改名  
制服が現在の形に

**2020**  
丸山キャンパスにフレンズ・スクエア完成

**2022**  
第200号発行!  
「読む」とつながる。「読む」とひろがる。をタグラインに

フレンドクラブに通っていた頃、友達が載っていないかな? 知っている先生が載っているかな?と探しながら、ニューズレターを読んでいた。

高森保育部主事 斉藤やよい  
(高森フレンドクラブ同窓生)

**2011**  
No.141 愛知・関西旅行 特集号

**2014**  
No.146 GrapeSEED 特集号

**2016**  
No.156 震災1周年特集号「蘇生」(20ページ)

**2017**  
No.176 アメリカ長期留学 30周年記念 特集号

**2022**  
第200号発行!  
「読む」とつながる。「読む」とひろがる。をタグラインに



# ニュースレター制作のあゆみ

ニュースレターの45年には多くの人に関わり、時代とともに内容やデザインも変わってきました。けれども、子供達や保護者の方々に楽しく読んでほしいという気持ちは、ずっと変わらず制作スタッフに受け継がれています。今回は、制作を担当した歴代の先生達と、1998年から制作を担当しているグレープシティの小林珠美さんに、ニュースレター制作の思い出や苦勞を伺いました。

「ニュースレターって何？」  
から始まった創刊号制作  
写真も暗室を作って自分で現像



ティモシー先生

ニュースレターが何かも写真の撮り方もわからない中で、一から自分で勉強して創刊にこぎつけました。

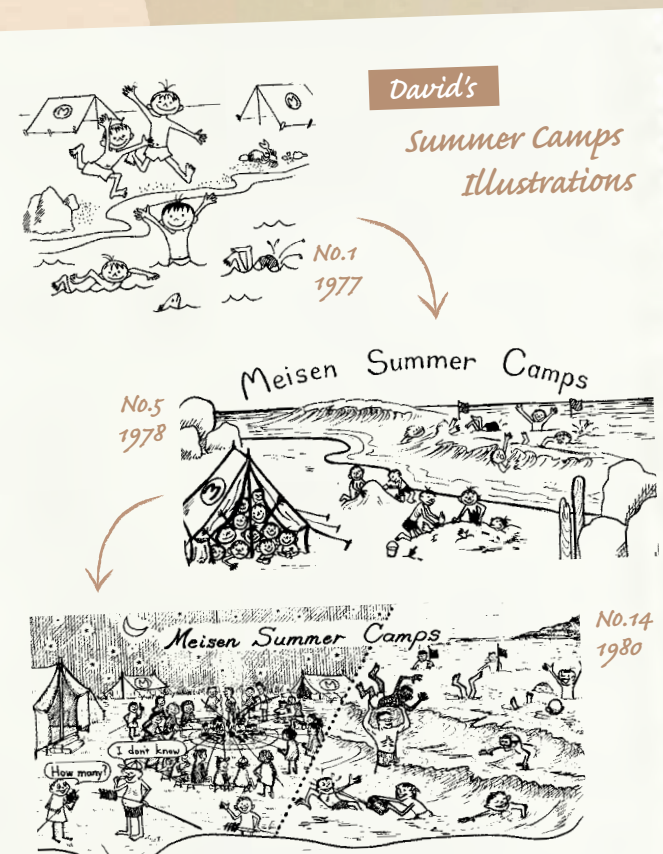
小さなカメラを手に入れて、「Photography」という本を読みながら撮影方法や構図の取り方の基本を勉強。今のようにカメラ店や機械で簡単に写真を印刷できる時代ではないので、職員室の屋根裏に自分で即席の暗室を作り、何度も失敗しながら現像しました。そもそも学園のニュースレターにどんな記事を書けばいいかわからなかったため、河北新報の記者さんに機関紙の基本や構成のアイデアを教えてくださいました。

とにかく、ぶっつけ本番で制作した第1号でした。

この記事は、ティモシー先生が亡くなる前の昨年12月にインタビューしたものです。

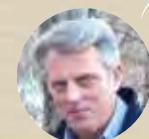


ニュースレターの創刊号。当時はモノクロ印刷で、写真もイラストもすべて白黒でした。



デイヴィッド先生によるサマーキャンプのイラスト。創刊号、5号、14号と進むにつれてイラストの筆づかいもどんどん細かくなり、キャンプを楽しむ子供達の様子や表情がいきいきと描かれています。当時、明泉は英語で「MeySen」ではなく「Meisen」と書いていました。

初期のニュースレターは活版印刷。イラストも自分で描きました



デイヴィッド先生

ティモシー先生と一緒に、私もまったく経験のないところからの出発でした。当時は印刷屋さんが活字を一字一字合わせて文章を組み立てる活版印刷だったので、私も記事の字数を数えながらレイアウトをしました。写真やイラストを入れるスペースを確保し、それ以外の部分に記事を入れるため、とても細かい作業でした。

記事は私が書き、当時副園長をしていた栗野ヒデ子先生や常務理事をしていた小川守先生が校正。行事や子供達に守ってほしい約束事のイラストも、自分で描いていました。今見るとちょっと恥ずかしいイラストもありますが、懐かしい思い出です。

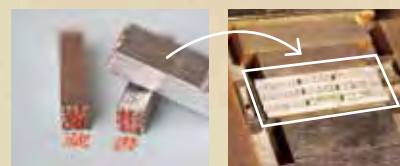
また、印刷の経費を抑えるために白黒で発行していましたが、時には表紙だけ1色増やしたり、冬に発行する号では緑と赤のクリスマスカラーにしたり、楽しく読んでもらえるような工夫もしていました。



▲創刊号のイラスト

活版印刷とは

活字と呼ばれる金属のハンコのようなものを原稿通りに並べて版を作り、そこにインクをつけて印刷する手法のこと。西洋のアルファベットと比べて、日本語では仮名だけでなくたくさんの漢字があるので、活字の制作や管理が大変でした。ほとんどの印刷物がコンピュータを使って作られている現在からは、考えられないですね。



▲金属活字。文字が縦文字になっています ▲活字が並べられている様子

昼間は英語の先生、  
夜はニュースレターづくりに奮闘



ジャシュア先生

1990年発行のハロウィン特集号から担当し、それまでの号とは趣向の違う新しいスタイルを目指して制作していました。冬号ではページに雪の結晶を散らせたり、春号では水彩画調の背景にしてみたり、パソコンで画像を作成できる時代ではないので、すべて試行錯誤しながら自分で描いていました。これに加えて、活版印刷するための字調整やレイアウトなど、他にもたくさん作業があります。私は英語の先生もしていたので、日中は子供達に英語を教え、その後に夜中までかかってニュースレターを作っていた日々でした。



▲No.55のキャンディコーナー

私が英語の先生の発案から始めた「キャンディコーナー」は、キャンディ\*が園のルールやマナー、やってはいけないことをわかりやすく教えるコラムで、子供達にも楽しく読んでもらえたと思います。

また、明泉創立25周年記念号では、開園当時の園舎の写真と同



写真上：開園当時  
写真下：1992年当時  
どちらも丸山キャンパスから  
泉中央・将監方面を臨む。  
たくさんの住宅・建物ができ、  
園舎の向こうの景色も様変わり  
しました。



じアングルで写真を撮りたいと思い、高所作業車を借りてきて撮影しました。2枚の写真と並べてみると、1967年当時は将監団地がなかったことが見てとれます。その後、カメラや写真技術は大きく発達し、園のカメラも白黒写真しか撮れなかった手動式から、フルオート撮影が可能なミノルタのカメラに代替わりしました。そのカメラは私の大切なツールとなり、今でも幼稚園の子供達に配布している『動物とお友達』や『もりとおはなし』の本のためにもたくさんの写真を撮影しました。

\*キャンディ  
高森キャンパスで飼っていたオールド・イングリッシュ・シープドッグ。とても頭のいい犬で、子供達とも先生とも大の仲よし。たくさんの指示を英語で覚えていました。

~2022

創刊号から続く「明泉らしさ」を大切にしています



グレープシティ株式会社  
GrapeColors (クリエイティブ制作チーム)  
小林珠美さん

私は東京で飯守恪太郎氏のデザイン事務所「飯守アート」に勤めていましたが、1997年に学園創立30周年のプロジェクトで新しいシンボルマーク「ペルソナマーク」を制作したのが、明泉との初めての仕事です。空を飛んでいる姿や親子で手をつないでいる姿など、スクールバスに描かれているペルソナマークの変化形も、その一環で制作したものです。

Friendsニュースレターには1998年の90号から関わっています。紙面リニューアルにあたり、「飯守アート」が「Friends」のロゴ制作や表紙のレイアウトを担当しました。開園当初から先生方が撮りためた素敵な写真がたくさんあり、その量に圧倒されたことを覚えています。現在のニュースレターは毎月、掲載する写真の選定・加工から記事のタイトルデザイン、園で準備された文章を流し込んでの紙面レイアウトまで、現在所属している「GrapeColors」が明泉と



新しい号に着手する時期になると、「GrapeColors」スタッフの方々は制作会議を開き、レイアウトとデザインの方針を決めているそうです。写真は、以前のニュースレターやデザイン資料を広げてデザイン方針を話し合っている200号制作会議の様子。

協力しながら行っています。

「GrapeColors」には13名のスタッフがいますので、その号を担当するスタッフの個性も生かしつつ、明泉らしい紙面づくりをするために、チームで高いクリエイティビティを保つよう取り組んでいます。年4回の発行なので、ニュースをいち早く届けることができないといった季刊としての難しさもありますが、明泉のニュースレターのように写真をふんだんに使ってデザインできる媒体はなかなかありません。手に取る方々に、子供達のいきいきした表情や季節らしさを感じていただけたら嬉しいです。

海外向けに英語版も制作

プレミアのオーストラリア研修やハイスクールのヨーロッパ研修などお世話になる現地の方々に明泉のニュースを届けるため、毎月翻訳して英語版も作成しています。明泉サイトにも掲載していますので、ハイスクールの皆さんは、授業教材とはまた違う楽しい読み物として、英語の学習に役立ててみてください。





明泉の英文法クラス

レベルの高い「読み書き力」を目指して

学校で英語の授業をよりよく理解したり、英語の会話力を支える基礎固めをしたい中高生のために、明泉では英文法クラスを開設しています。受験のためだけでなく、社会に出てからも通用する英語リテラシーを身につけてもらえるよう、3人の先生がさまざまな工夫をしながら教えています。

松本 妃未 先生 (写真左)

園で教え始めてもうすぐ8年。フレンドクラブの卒業生です。皆さんは明泉で楽しみながら英語力を身につけていると思います。中高生になったら、その力をさらに伸ばすために英文法を勉強してみませんか。文法は強い味方になりますよ。

佐野 誠 先生 (写真中央)

英文法はもちろんのこと、さまざまな問題に対してなぜそうなるのだろうと疑問を持つことは、良いことです。英文法クラスでは、そのような「なぜ？」と考える姿勢を大切にしています。

横田 慎二 先生 (写真右)

はじめまして！なんと私の自宅は丸山から徒歩1分！自宅で塾もやっています。英文法を丁寧に解説し、皆さんのレベルがアップするようお手伝いいたします。 ※8月からお迎えした先生です。



明泉の英語教育の礎を築いた2人の先生が天に召されました。



バーバラ・マーチ先生

学園創立から数年間、子供達に英語を教えたバーバラ・マーチ先生は、自分でイラストも描きながら当時の英語教材をすべて手作りしました。朝の挨拶の歌「Good Morning to You」を歌う姿や教材「Sunshine Book」を覚えている同窓生も多いことでしょう。またバーバラ先生は、明泉を離れてから英語の先生の育成にも力を尽くし、歴代の英語の先生には教え子がたくさんいます。



バスの中で話しているバーバラ先生



Sunshine Book



ティモシー・ブローマン先生

ティモシー・ブローマン先生は、同じく英語を教えていましたが、教壇を下りた後は「GrapeSEED」の開発に携わりました。ティモシー先生がロレッタ・クーサク氏ら専門家と幼児の脳の成長や英語上達のメカニズムを多岐にわたって研究し、誕生したのが「GrapeSEED」です。

※ロレッタ・クーサク氏：幼児英語教育の専門家。アメリカ国内外で英語教育コンサルタントとして活躍。



英語教材制作の会議



お二人の子供達への愛、英語教育の情熱は、神様への信仰に根差したものであり、生涯変わることはありませんでした。「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。」(ヘブル人への手紙 11章6節)と聖書にあります。バーバラ先生とティモシー先生の信仰と教育への熱意を、これからも大切に引き継いでまいります。

2022年度留学生と支援企業の顔合わせ会を開催



A Way We Learnの情報はこちらから

7月6日、長期留学支援プログラム「A Way We Learn」の賛同企業の方々と留学生の顔合わせ会を開催しました。今年度は14社から新たに賛同いただき、合計93もの企業が5名の生徒の留学をサポートしてくださっています。

留学生は現在、ホストファミリー宅に滞在しながら、高校に通っています。留学にチャレンジしたいと考えているハイスクール生は、留学について質問があれば海外プログラム担当のピーター先生や佐野先生に気軽に相談してください。

たくさんのボールを寄付していただきました



株式会社グレイス様と七十七銀行様より、約10万円分のボールを寄付していただきました。いただいたドッジボール用など5種類のボールは、フレンドクラブやプレミアエレメンタリーの遊び時間、FitKidsの活動で使用します。ボールで遊んだり活動する時は、大切にしてくださいね！  
6月28日には、株式会社グレイス代表取締役の須田利昭様にお越しいただいて贈呈式をしました。子供達の活動を支えるご寄付、本当にありがとうございました。

写真右から七十七銀行泉支店一柳知秋支店長、須田社長ご夫妻



199号に続いて、200号では明泉にいる馬とポニーの名前を皆さんに当てていただきます！丸山では馬とポニーを1頭ずつ、高森では1頭の馬と2頭のポニーを飼育の先生達が育てています。動物が大好きで、毎日のように馬小屋に来てくれる子供達もいるんですよ！

Q: 明泉にいる馬とポニーの名前を当ててね!



今回の正解者には抽選で、明泉Tシャツ(各園1名)、オリジナルメモパッド(各園3名)をプレゼントします。



応募締め切り10月31日 [Mon.]

応募はこちらから <https://form.os7.biz/f/0b46f4f0/>

※ハイスクール、プレミアハイスクール、文法クラスは応募の対象外とさせていただきます。どうぞご了承ください。

飼育の先生に聞いてみたら?

教室に置いてある『動物とお友達』の本に書いてないかな...

馬小屋に行ってみよう!

明泉バスクイズ! 応募数106名、正解者は56名。

明泉バス80分の1模型 当選者



高森: フレンドクラブ1年 北林涼真君 (Dale)

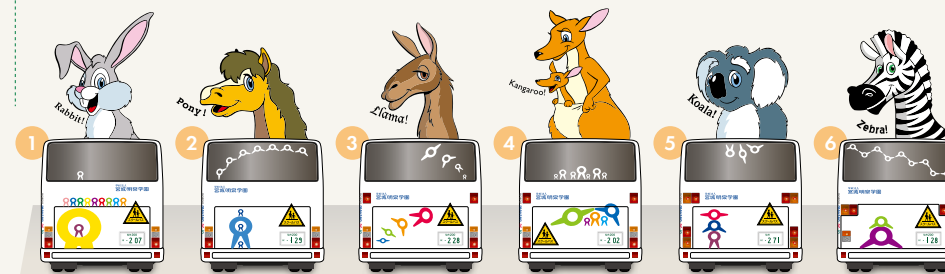
丸山: 木蓮組 佐藤太一君

バス缶クッキー当選者

丸山: 鈴掛組 戸羽陽斗君、プレミア G3 森谷奏斗君 (Jeremiah)  
高森: カンガルークラブ 里村慧太君、フレンドクラブ2年 渋谷礼菜さん (Megan)

199号のバスクイズには、たくさんのご応募ありがとうございました。

前号の答え



バスのペルソナマーク何をしているかな?

リングクライムかな?

手をつないでいるみたい!

肩車してるね!



主はあわれみ深く情け深い。怒るのに遅く恵み豊かである。私たちの罪にしたがって私たちを扱うことをせず、私たちの咎にしたがって私たちに報いをされることもない。天が地上はるかに高いように、御恵みは主を恐れる者の上に大きい。東が西から遠く離れているように、主は私たちの背きの罪を私たちから遠く離される。父がその子をあわれむように、主はご自分を恐れる者をあわれまれる。主は私たちの成り立ちを知り、私たちが土のちりにすぎないことを、心に留めてくださる。

詩篇 103篇 8,10-14節

Meysen 5 CORE VALUES

きんべん  
「勤勉」  
せいじつ  
「誠実」  
つか  
「仕える」  
けんきよ  
「謙虚さ」  
あわれみ  
「憐れみ」

Diligence  
Integrity  
Servanthood  
Humility  
Compassion

明泉が大事にしてきた基本的価値観「コア・バリュー」

明泉学園の教職員全員で共有し大事にしている価値観や心構えについて、最終回は5番目の「憐れみ」を取り上げます。

第5回



園長  
ダニエル・ファンガー

憐れみ Compassion

心からの思いやり／深い同情心

「憐れみ」を辞書で調べると、「人の苦しみや不幸への深い理解と同情／人の痛みを理解し何かをしてあげたいという気持ち」などと表現されています。明泉のモットーである「いつくしみ」にも通じます。英語のcompassionはcom(共に) + pati(苦しむ)を語源としており、私達は「憐れみ」という言葉に「共に苦しむ」の意味も含めて考えています。

明泉の教職員には、「Compassion」の究極のお手本はイエス様の生き方にあると、折に触れて話しています。イエス様が様々な場面で人々に与えられた憐れみに満ちた態度や、自らを犠牲にして人々を愛し通された姿が、私達の最大の模範です。

イエス様ご自身も、最も大切な神の命令の一つは「自分を愛するように隣人を愛すること」だと言われました。「自分を愛するように他人を愛する」というのは、簡単に自然にできるものではありません。しかし、自分の子供(特に赤ちゃん)に対する親の心を考えると、理解し易いかもしれません。

**女が自分の乳飲み子を忘れるだろうか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとえ女たちが忘れても、このわたしは、あなたを忘れない。**  
＜イザヤ書 49:15＞

この聖書のことばには、幼子に対する親の情けと憐れみの心が表現されており、神様の私達に対する憐れみと愛はそれ以上のものだと言われています。

明泉においては、「憐れみ／Compassion」の心を以下のように実践するよう努めています。

- ・ 周りの人(子供、保護者、同僚)を真に理解し、心から思いやる
- ・ すべての子供が神様の形に創られていること、神様に愛されていることを心にとめて接する
- ・ すべての子供を我が子のように愛し、愛情と優しさを注ぐ

- ・ 自分を愛するように、隣人(保護者や同僚)を気にかけて愛する
- ・ 自分も赦してもらうことがあるように、他人の過ちを赦す

**互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。**

＜エペソ人への手紙 4:32＞

これまで見てきた「仕える」や「謙虚さ」の価値観と同様、真の「憐れみ」は、自分本位な態度や心では実現できないでしょう。生まれつき優しい心を持ち、敏感に人の気持ちや苦しみを察し、思いやりをもって他人を助けようとする人もいるかもしれませんが、自己中心的な心が全くなく、自然にいつも「自分のように他人を愛する」ことができる人はいないでしょう。

しかし、私達の心がどんなに罪深いものか自覚すると同時に、それにもかかわらず神様がどんなに私達を憐れみ愛してくださったのかがわかればわかるほど、私達は心から神様を愛するようになり、ますます他人も愛し赦せるようになるでしょう。次の聖書の言葉には、私達が幾度となく失敗し罪をおかしても、悔い改めて神様に立ち返るなら、神様は私達を憐れみ、罪を赦してくださることが表現されています。

**実に、私たちは滅び失せなかった。主のあわれみが尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。**  
＜哀歌 3:22-23＞

イエス様は「山上の垂訓」で以下のように教えました。

**あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるからです。**

＜マタイの福音書 5:7＞

他人に憐れみを示せば、私達も憐れみを受けるとあります。また、イエス様の弟子達が書き残した手紙にも、このことについてたくさん語られていますので、そのいくつかを紹介します。

**喜んでいる者たちとともに喜び、泣いている者たちとともに泣きなさい。**

＜ローマ人への手紙 12:15＞

**ですから、あなた方は神に選ばれた者、聖なる者、愛されている者として、深い慈愛の心、親切、謙遜、柔和、寛容を着なさい。**

＜コロサイ 3:12＞

**最後に言います。みな、一つ思いになり、同情し合い、兄弟愛を示し、心の優しい人となり、謙虚でありなさい。**

＜ペテロの手紙 第一 3:8＞



これまで5回にわたり、明泉学園が教職員全員で共有している価値観、コア・バリューを紹介してきました。明泉においては、これらの価値観が最も大事な心構えだと考え、教職員の教育や指導の基準とし、採用の指針ともしています。

これらの価値観は、明泉のみならず、どの人間の集団においても重要です。家族関係、夫婦関係、どんな職場や人の集いにおいてもそうです。子供達も、ぜひこの5つのコア・バリュー「勤勉／誠実／仕える／謙虚さ／憐れみ」を子供の時から身につけ、明泉にいるときも、学校のクラスやクラブの中でも実践し、自分のものとしてください。きっと素晴らしい人間関係を築き、他人の助けとなり、なくてはならない存在になるでしょう。

